

顎関節症

患者様情報

来院されるまでの症状

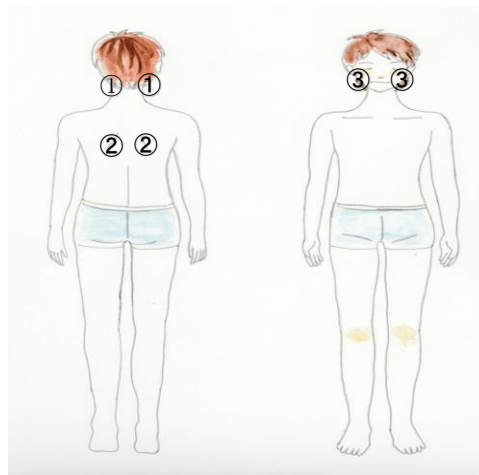
- ・話すことが多い職業のため、顎周りの筋肉や首に負担がかかっているようでした。酷いときは顎に痛みがあり、呂律が回らないなどの症状が出るそうです。
- ・ストレスも感じていて、くいしばりの症状も自覚があるようでした。それに伴って、睡眠の質も悪く慢性疲労を訴えていました。
- ・テレビで鍼の特集をしているのを見て興味を持ち、家から近いという理由でご来院されました。

患 者 様	40 代 男性
初 診	2021 年 7 月
既 往 症	不眠症(薬を服用するほどではない)、左鎖骨骨折
他 の 症 状	首こり、肩こり、腰痛、末端冷え性

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・初めての鍼ということで、かなり緊張されていました。使用する鍼や治療方針などしっかり説明して施術を開始しました。
- ・切経してみると、顎周りを中心に首、肩の筋緊張が強く、身体の力が抜けない様子でした。このことが原因で、顎関節症やくいしばりになっていると診立てました。
- ・まず「完骨」、「膏肓」に浅めの鍼を置鍼して首、肩周りの筋緊張をとりました。
- ・「下関」に優しいお灸を据えて治療を終了しました。



■ 初診後の経過

- ・治療後、全体的に身体の力が抜けていました。後日「その日はよく眠れました。」と嬉しいお言葉をいただきました。
- ・経絡治療を気に入って下さり、現在も週に1回治療を継続中です。

使用した主要なツボ

- ①完骨（カンコツ） ②膏肓（コウコウ）
③下関（ゲカン）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・今回のケースは、顎周りが痛いというタイプの顎関節症でした。顎関節症は完治しにくく、睡眠障害や頭痛といった随伴症状が出ることも有名です。
- ・顎の痛みの顎関節症は、鍼灸の治療が有効とされています。逆に口の開け閉めに問題のある顎関節症は、時間が掛かるとされています。秀鳳では口の開け閉めに障害のある顎関節症の症例もありますので、ぜひご相談ください。